

CONTENTS

第37巻 第1号 2010

原 著

- Incidents of Violence and Verbal Abuse from Patients and Their Relatives against
Nurses in Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital Hiroshi Ihara et al... (1)
- Effect of Insulin on Aortic Rings Isolated from Wistar Rats Kohzo Takebayashi et al... (9)
- 獨協医科大学病院呼吸器・アレルギー内科におけるHIV感染患者の解析
—特にニューモシスチス肺炎の合併例について—..... 杉山公美弥 他... (15)
- レチノイン酸は大腸上皮細胞においてNF-κBシグナリングを活性化する 内園まり子 他... (21)

症例報告

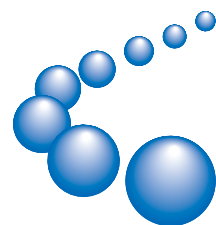
- A Case of Inflammatory Lung Disease and Retroperitoneal
Fibrosis Attributed to Systemic IgG4-related Disease Masamitsu Tatewaki et al... (31)
- 気管内挿管の後に人工呼吸管理を施行しなかった
ウェルドニッヒ・ホフマン病の乳児例..... 今高城治 他... (35)

総説

- Localization of Stem Cells in Small Intestinal Epithelium :
Strategies for Identifying Small Intestinal Stem Cells..... Katsumasa Suzuki et al... (41)

学位申請論文

- Th1サイトカインとLPS刺激による脱落膜からのIFN-γの産生
—異常妊娠におけるグラム陰性菌への感受性亢進の機構解明に向けて—..... 根岸正実... (T 1)
- メトホルミンとピオグリタゾンの併用によるヒト培養横紋筋細胞における
遺伝子変化の解析..... 清水裕晶... (T11)
- 慢性血液透析患者におけるLおよびT型カルシウム拮抗薬エホニジピンの
レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系に及ぼす影響 中野信行... (T19)
- 低マグネシウム下テオフィリンによる心筋弛緩障害と新規ベンゾチアゼピン誘導体
K201の改善作用に関する実験的研究 景山倫也... (T27)
- 日本人孤発性口唇・口蓋裂発症に関する
5,10-methylenetetrahydrofolate reductase (MTHFR) 遺伝子
C677T・A1298C多型の解析 越路千佳子... (T37)
- B型肝炎ウイルス母子感染予防対策新方式の臨床的検討
—児キャリア化ゼロ・対策漏れゼロを目指して—..... 林田志峯... (T49)



Dokkyo Medical Society
Dokkyo Medical University
Mibu, Tochigi, 321-0293 Japan

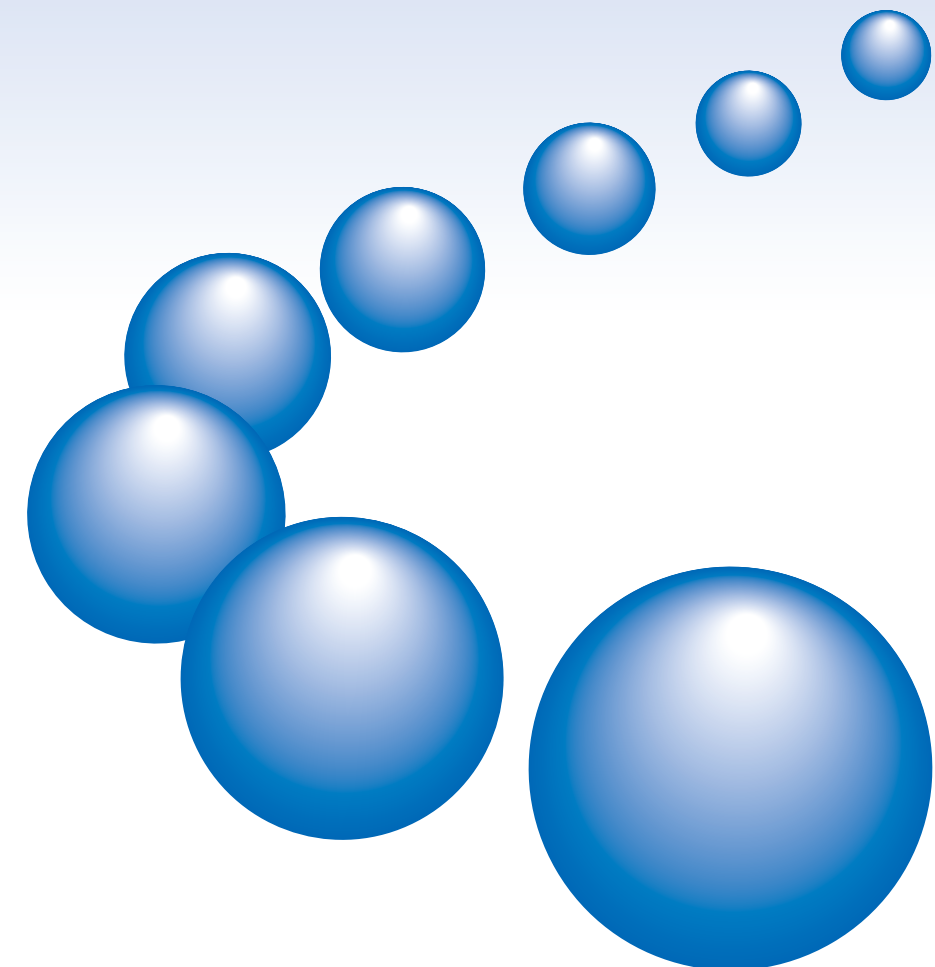
DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.37, No.1

March 2010

DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES

Vol.37, No.1, March 2010



獨協医学会雑誌



- I. 本誌の投稿論文は、和文または英文で、その内容が他誌に投稿中または掲載されていないものに限る。投稿に際して著者は、二重投稿でない旨を記した誓約書にサイン・捺印し、添付する。人体を対象とした研究では、ヘルシンキ宣言について述べられているように、科学のおよび倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意（インフォームドコンセント）取得と記載が必要である。動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から適切な実験計画を立て、全実験期間を通じて飼養および保管に配慮した旨の記載が必要である。
- II. 投稿者は獨協医学会会員に限る。
- III. 投稿論文は複数のレフリーによる査読を経た後に、その採否、掲載順序などを編集委員会によって決定する。掲載後の全ての資料の著作権は編集委員会に属し、他誌への無断掲載は認めない。
- IV. 原稿は次の形式とする。
 - (1) 原著 (2) 症例報告 (3) 短報 (4) 総説 (5) 通信 (6) 学位申請論文 (7) その他
 - (1) 原著：次の様式とする。
 1. 原稿は、A4版用紙を用い、ワードプロセッサにて白紙1枚に比較的大きなフォントの読み易い文字で和文の場合20字×20行（マージンを大きくとる）、英文ではダブルスペースで印字する。和文中の外国語言語は欧文フォントを使用し、外来語、植物学名、外国人名、および外国地名などの日本語化した語はカタカナ表記（全角）を使用する。和文、英文ともに頻用される語は略号を用いても良いがなるべく少なくする。略号は初出に正式な語を記し、続けて（略号）を記載する。
 2. 原稿は、A4版用紙25枚以内とし、正1部、副2部、計3部を提出する。但し、副については本文、文献、抄録、図表に限りコピーで良いが、写真は正原稿と同じものとする。
 3. 原稿の記述は、和文の場合、表題、欄外見出し（簡潔表題）、著者氏名、所属、連絡先住所、電話番号、FAX番号、要旨（500字以内）、索引用語（和文5語以内）、本文（緒言、方法、結果、考察、結論）、文献、英文表題、ローマ字著者名、英文所属、英文要旨（ダブルスペース300語以内）、Key Words（5語以内）、の順とする。英文の原稿も原則として上記に準ずるが、簡潔表題（running title）は40文字以内とし、和文要旨、和文キーワードなどは不要。
 4. 図（写真を含む）と表は別紙とし、図1あるいは表1の様に番号をつける。原稿には図表の挿入箇所を欄外に朱記する。図表の原稿はそのまま印刷出来る様に白紙に黒インクまたは印画紙に焼き付けた鮮明なものにする。またそれらの大きさは、刷り上りで1/4頁を原則とする。写真は裏面に筆頭者氏名、番号、上下を記入する。図表の説明は和文の場合、日本語、英語のどちらも可であるが、英語を選択した場合、表は順にTable 1、Table 2、とし、図（写真）は順にFig 1、Fig 2、と記載する。カラー印刷、またはトレーシングを必要とする場合は実費を徴収する。
 5. 数字は算用数字を用い、計量単位はSI単位を原則とする（例 mg, g, kg, mg/dl, ml, l, mm, cm, m, cm², °C など）。
 6. 文献
 - 1) 文献は本文中に引用番号順に配列し、論文の最後に文献としてまとめる。和文、英文ともに「印刷中」あるいは“in press”は文献として記載するが、私信などは本文中あるいは脚注に記載するにとどめる。
 - 2) 文献は次の形式による。著者名、論文表題、雑誌名、巻、頁（始めと終わりの頁）、発行年（西暦年号）。
 - 3) 雑誌名の略号はIndex Medicusを参考とし、和文雑誌名は略記しない。

- 4) 著者名は、日本人は姓と名、外国人は姓と名（頭文字）とする。
- 5) 単行本の引用には著者または編集者、書名、出版社名とその都市名、引用頁、発行年を記入する。
- 6) 著者名、編者名が4名以上の場合は最初の3名を書き、他は、他、またet alとする。
 - 例1) 酒井昇, 中丸裕爾, 栗原秀雄, 他：甲状腺嚢胞に対するエタノール硬化療法の試み、耳鼻と臨床44：12-15, 1998.
 - 例2) 清水潤, 西山和利, 武田浩一, 他：筋生検所見でtype II atrophy を認めた進行性半側萎縮性の1例（抄）臨床神経学 31：93, 1991.
 - 例3) Sandman K and Reeve JN：Origin of the eukaryotic nucleus. Science 280：501, 1998.
 - 例4) Kerker N, Hadzic N, Davies ET, et al：De-novo autoimmune hepatitis after liver transplantation. Lancet 351：409-413, 1998.
 - 例5) 大澤美貴雄：視覚刺激による事象関連電位（ERP）、臨床誘発電位ハンドブック。黒岩義之、菌生雅弘（編）、中外医学社、東京、pp210-213, 1998.
 - 例6) Tanaka H, Hodumi A, Iwai T, et al：Evaluation of ERPs electrical field distribution in cortical and subcortical dementia. in “Brain Topography Today”. ed by Koga Y, Nagata K, Hirata K. Elsevier Science BV, Amsterdam, pp544-551, 1998.
- (2) 症例報告
 - 1) 書式は原著に準ずる。但し、要旨は300字以内、索引用語は3語以内とする。
 - 2) 原稿の長さはA4版用紙10枚以内とする。
- (3) 短報
 - 1) 独創的な研究、工夫、仮説などを内容とする。
 - 2) 書式は原著に準ずる。但し要旨は不要とし、索引用語は1語とする。
 - 3) 原稿の長さはA4版用紙4枚以内とする。
- (4) 総説

原則として編集委員長からの依頼により投稿されるものとし、A4版用紙20枚以内、その他は原著に準ずる。
- (5) 通信

必ずしも学術的な内容に限らず、広く会員の医療活動に関するものとする。
- (6) 学位申請論文

「学位申請論文の執筆投稿指針」を参照する。
- (7) その他

編集委員会が認めたものとする。

V. 備考

1. 投稿にあたっては、人権を損なう恐れのないように配慮するのみならず、実験動物の論文においても、動物の維持・管理や疼痛の緩和などに配慮し、研究計画が研究実施機関の倫理委員会や動物実験委員会等によって承認された研究であることを明記する。
2. 論文掲載が決定した後、最終原稿を収録したフロッピーディスク（3.5インチ、TXT形式で保存、ソフトは指定しないが使用機器名、ソフト名を明記する）を提出する。
3. 著者校正は初校のみとする。校正は誤植、組版の誤りを訂正することにとどめ、内容を変えないこと。
4. 掲載原稿、フロッピーディスクは返却しない。
5. 刷り上り1頁は和文原稿用紙（20字×20行）5枚分を目安とする。
6. 掲載料は、次の基準による。
 - 1) 別刷は30部まで無料とし、それ以上は実費とする。
 - 2) 依頼された総説は無料とする。
 - 3) 特別掲載については別に定める。

CONTENTS

Vol. 37, No. 1, 2010

Originals

- Incidents of Violence and Verbal Abuse from Patients and Their Relatives against Nurses in Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital …………… Hiroshi Ihara et al… (1)
- Effect of Insulin on Aortic Rings Isolated from Wistar Rats …………… Kohzo Takebayashi et al… (9)
- Analysis of the Background of Patients with HIV Infection in Department of Pulmonary Medicine and Clinical Immunology, Dokkyo Medical University …………… Kumiya Sugiyama et al… (15)
- Retinoic Acid Activates NF-κB Signaling in Colonic Epithelial Cells … Mariko Uchizono et al… (21)

Case Reports

- A Case of Inflammatory Lung Disease and Retroperitoneal Fibrosis Attributed to Systemic IgG4-related Disease …………… Masamitsu Tatewaki et al… (31)
- A Baby with Werdnig-Hoffmann Disease that did not Undergo Artificial Respiration Management after Tracheal Intubation …………… George Imataka et al… (35)

Review

- Localization of Stem Cells in Small Intestinal Epithelium：Strategies for Identifying Small Intestinal Stem Cells…………… Katsumasa Suzuki et al… (41)

Doctoral Treatises …………… (T 1～T56)